



**** 県新人体育大会・高文祭 結果報告 ****



【県高校新人大会ベスト8以上】

- 空手道競技：男子総合3位(団体組手2位、団体形3位)
男子個人組手中量級準優勝、重量級3位
女子個人形3位、個人組手軽量級3位
- 剣道競技：男子団体3位、女子個人3位
- 卓球競技：男子学校対抗3位
男子ダブルス2位
- 体操競技：男子個人総合3位
女子個人総合1位
- バasketボール競技：女子ベスト4
男子ベスト8
- バレーボール競技：女子ベスト8
- 硬式テニス競技：男子団体ベスト8
- バドミントン競技：女子団体ベスト8
- ソフトボール競技：男子ベスト8、女子ベスト8



新チームで臨んだ今回の新人大会は以上の結果であったが、本来の実力が発揮できず納得いく結果を出せなかったチームもあった。勝敗に関わらず、課題をしっかりと分析し、再スタートを切ろう。結果は必ずついてくる！

【県高文祭関連】

- 島袋 日菜(2-3) 書道展：高文連会長賞
- 浦崎はるな(2-3) 書道展：県高書研顧問賞
- 上江洲啓輔(2-7) 県合同オケスト全国高文祭派遣



頑張れ 前原高校！ Yes, We Can !!

★ 霜月 (しもつき)

由来は、霜が降りる月(霜降り月)から来ているとされる説が有力。秋も深まり、早いところでは朝霜が降りる時期になったことを表しているといわれ、穀物の収穫を感謝する行事(祭り)が各地で行われる月でもある。



★ 11月15日 「七五三」



数え年で男の子は5歳、女の子は3歳と7歳に晴れ着を着て神社に参拝し、無事成長したことの感謝と、将来の幸福と長寿をお祈りする行事。この日に祝うことになったのは、この日が二十八宿の鬼宿日(きしゆくにち)にあたり、婚礼以外は何事の祝い事にも吉とされていたからで、七五三はいずれも陽数で縁起の良い数字とされている。

★ 小春日和 (こはるびより)

「小春」は陰暦10月(現在の11月頃)の異名で、晩秋から初冬の頃の暖かく穏やかな日のこと。よく春の気候を示す言葉として誤って使うことが多いので気をつけよう。



〜〜 時の言葉 〜

「僕の前に道はない、
僕の後ろに道はできる。」

(人生は、誰かが作った道を楽しんで歩むのではなく、自分で切り開いて行くものです)



高村光太郎 (たかむら ひろたろう) 1883~1956：東京都台東区出身
詩人・彫刻家・画家・能書家。日本文学の近現代を代表する詩人の一人として知られ、本名は同名であるが光太郎を「みつたろう」と読む。多くの作品が教科書にも掲載され、主な詩集に「道程」「智恵子抄」等がある。

〜〜 English Maxim (名言) 〜

"One today is worth two tomorrow."

「今日という日は、明日という日の二日分の値打ちがある。」



Benjamin Franklin (ベンジャミン・フランクリン)：1706~1790
米国の政治家・外交官・物理学者・気象学者で、政界にも進出しアメリカ独立に多大な貢献をした。また、風を用いた実験で、雷が電気であることを明らかにした。米100ドル紙幣に彼の肖像が描かれている。

*** 書く(文字にする)ことで夢は叶う！***

人間の意識(顕在意識)は約1割程度で残りの9割は無意識(潜在意識)の状態にある。この無意識の中は宝の山で、それを掘り起こすには「書く」作業が必要になる。自分の夢を叶えるために一番確実な手段は「書くこと」だとも言われている。夢や目標を書きそれを何度も見ることで記憶が強化され、その記憶が脳の潜在能力に働きかけ夢を叶える力を引き出してくれるのだ。伊藤選手や本田選手はそれをうまく利用して一流選手になっている。どんなに高い目標でもまず書き出し、時間がかかっても諦めずに取り組み。くじけそうな時に書いた目標を読み返せば、脳がやる気になってその目標へと導いてくれるのだ。夢や目標は実行しなければ叶うことはない。その第1歩が、具体的な夢や目標を書き出し、意識化することなのだ。

